

2026年 埼玉開催決定！ 第10回全日本男声合唱フェスティバル

男フェスの歴史を振り返る

埼玉県合唱連盟シニア委員 加藤良一

全日本男声合唱フェスティバルは、2010年11月宮崎で第1回大会がスタートしました。以来不定期とはなりましたが、コロナ禍がようやく明けた今年7月14～15日、第9回大会が長野県松本で開催されました。

通常は次の大会開催県の代表が会場で挨拶するのが恒例ですが、今年はその時点ではまだ決まっておらず、挨拶も正式な公表もされませんでした。その後、9月の全日本合唱連盟理事会で正式に「2026年、埼玉県」と決定しました。それを受け埼玉では、すでに動きが始まりました。

埼玉は東京の隣りという交通アクセスの良さもあり、地方からの参加が楽です。また、一大特長でもある高校生パワーをどうやって生かすかなど、新しい試みを模索してゆくことでしょう。

大会の概要

全日本男フェスは、合同演奏と参加団体による演奏の2本立てで、土日の2日間を使って開催するパターンが定着しています。合同演奏は1日目の13時頃から3人の講師からそれぞれ用意した教室で曲の講習を受け、終了後3教室のメンバー全員がホールに集まってお互いの演奏の「聴き合せ」をします。その後お待ちかねの懇親会となります。教室をいくつにするかは、大会主催者に委ねられており、これまでは2つの場合(第4、6回)と3つの場合(第1、2、3、5、7、9回)がありました。1日目はおおむね土曜に行われ、2日目は朝から一般客を入れた演奏会、各団の演奏と合同合唱を演奏します。

実際に行われた演奏内容を以下に示します。筆者は第1回宮崎から第9回松本まですべての大会に参加しました。全日本合唱連盟の関係者以外では珍しいかも知れません。

●●●●●●●●●●【第1回宮崎大会2010】●●●●●●●●●●

合同合唱A(浅井敬壹教室):男声合唱組曲「富士山」(草野心平詩/多田武彦曲)

合同合唱B(須賀敬一教室):男声合唱組曲「水のいのち」(高野喜久雄詩/高田三郎曲)

合同合唱C(荒谷俊治教室):「Mass No.2 in G(第二ミサ)から(シャルル・グノー曲)

●●●●●●●●●●【第2回福島・會津大会2012】●●●●●●●●●●

合同合唱A(清水敬一教室):男声合唱とピアノのための「新

いうた」から(まどみちお他詩/信長貴富曲)

合同合唱B(浅井敬壹教室):男声合唱組曲「富士山」(草野心平詩/多田武彦曲)

合同合唱C(須賀敬一教室):男声合唱組曲「心の四季」から(吉野弘詩/高田三郎曲/須賀敬一編曲)

●●●●●●●●●●【第3回岡山大会2014】●●●●●●●●●●

合同合唱A(高嶋昌二教室):男声合唱とピアノのための「つぶてソング第1集」から(和合亮一詩/新実徳英曲)

合同合唱B(清水敬一教室):男声合唱組曲「クレーの絵本第2集」から(谷川俊太郎詩/三好晃曲)

合同合唱C(山脇卓也教室):男声合唱組曲「こころようたえ」(一倉宏詩/信長貴富曲)、「くちびるに歌を」～男声合唱とピアノのための～から「くちびるに歌を」(Casar Fleischlen詩/信長貴富曲)

●●●●●●●●●●【第4回京都大会2015】●●●●●●●●●●

合同合唱A(広瀬康夫教室):「Soon Ah Will Be Down」(Spiritual/William Levi Dawson編曲)、「Ride The Chariot」(Spiritual/William Henry Smith編曲)、「No More sorrow」(Traditional/Shelton Kilby III編曲)、「When I Lift Up My Head」(Spiritual/Henry Thacker Burleigh編曲)

合同合唱B(浅井敬壹教室):男声合唱組曲「富士山」から「作品第壹」(草野心平詩/多田武彦曲)、男声合唱組曲「中勘助の詩から」から「絵日傘」(中勘助詩/多田武彦曲)、男声合唱組曲「柳河風俗詩」から「かきつばた」(北原白秋詩/多田武彦曲)、男声合唱組曲「雨」から「雨」(草野心平詩/多田武彦曲)

●●●●●●●●●●【第5回高知大会2016】●●●●●●●●●●

合同合唱A(須賀敬一教室):男声合唱組曲「水のいのち」から「水たまり」、「海」、「海よ」(高野喜久雄詩/高田三郎曲)

合同合唱B(山脇卓也教室):男声合唱とピアノのための「時代」から「サボテンの花」、「生まれ来る子供たちのために」、「時代」(財津和夫他詩/信長貴富曲)

合同合唱C(広瀬康夫教室):男声合唱組曲「尾崎喜八の

詩から「冬野」、「春愁」、「天井沢」、「かけす」(尾崎喜八詩/多田武彦曲)

◆◆◆◆◆【第6回小樽大会2017】◆◆◆◆◆

合同合唱A(清水敬一教室):男声合唱組曲「海鳥の詩」から「オロン鳥」、「エトピリカ」、「海鷲」(更科源蔵詩/廣瀬量平曲)

合同合唱B(広瀬康夫教室):男声合唱組曲「雪明りの路」から「春を待つ」、「月夜を歩く」、「夜まわり」、「雪夜」(伊藤整詩/多田武彦曲)

◆◆◆◆◆【第7回静岡・伊豆の国市大会2018】◆◆◆◆◆

合同合唱A(伊東恵司教室):「グリークラブアルバムNEXT」から「壁きえた」(谷川雁詩/新美徳英曲)、「語らいの途中」(みなずきみのり詩/クラウディオ・モンテヴェルディ曲/千原英喜編曲)

合同合唱B(広瀬康夫教室):「Sound Celebration」(Tom Gentry詩/曲/編曲、「I've Been Working On The Railroad」(Traditional/Rodger Payne編曲)、「Irish Blessing」(Traditional/ J. Jerorm Williams曲/Don Gray編曲)

合同合唱C(山脇卓也教室):「グリークラブアルバムNEXT」から「オンザロード」(和合亮一詩/信長貴富曲)、「酒頌」(William Butler Yeats詩/林望訳詩/上田真樹曲)、「なごり雪」(伊藤正三詩・作曲/宇田川安明編曲)

◆◆◆◆◆【第8回長野大会2020】◆◆◆◆◆

コロナ禍のため中止

◆◆◆◆◆【2021全日本男声合唱オンラインフェスティバル】◆◆◆◆◆

コロナ禍で集まることができない閉塞感を吹き飛ばそうと、全国の男声合唱団から演奏動画(過去のものもOK)を募集しYoutubeで配信しました。配信日程は、第1部:2021年12月24日/第2部:2022年1月12日/第3部:2022年1月14日でした。以下のサイトでご覧になれます。

<https://jcanet.or.jp/event/dansei/data/dansei2021.htm>

◆◆◆◆◆【第9回長野・松本大会2024】◆◆◆◆◆

合同合唱A(伊東恵司教室):男声合唱組曲「わがふるき日のうた」より「Enfance finie(過ぎ去りし幼年時代)」、「木兎」、「郷愁」、「鐘鳴りぬ」、「雪はふる」(三好達治詩/多田武彦曲)

合同合唱B(広瀬康夫教室):バーバーショップ「You Raise Me Up」、「Great Day」、「It's a Brand New Day」、「The Little Light of Mine」

合同合唱C(山脇卓也教室):男声合唱とピアノのための「駱駝の瘤にまたがって」(三好達治詩/木下牧子曲)

全国大会の難しさ…

全国大会開催の難しさは開催地がどこかで大きく異なります。第1回宮崎の関東以北からの参加は15団体中5団体、第7回小樽では関東以南が17団体中5団体でした。単独の合唱団が遠征するのはなかなか敷居が高いといえます。埼玉でも事情は同じで、たまたま男声合唱プロジェクトYARO会(5団体の集まり)の有志で構成する男声合唱団ヴィヴ・ラ・コンパニーとして出演する形をとっています。

また、1日で演奏できる団体数も限られてきます。7月に行われた第9回松本大会の演奏会は、10:00開演、17:20終演、28団体の演奏に加え、合同合唱(約20分)が3つありました。遠方へ帰る団体のことを考慮するとこれが限界でしょうか。

次回2026年の埼玉大会で開催です。大宮近辺で開催すれば交通の便はとくに問題ないと思いますが、逆に出やすいため参加希望が多すぎる懸念がないわけでもありません。可能な限り希望に沿うための工夫が求められます。

参考サイト

https://rkato.sakura.ne.jp/music/zennihon_danfes_rekisi.html

彩の国男声コーラスフェスティバル 無事開催！ 2024

1990年8月埼玉が全国に先駆けて立ち上げた男の祭典おとうさんコーラス大会が関東おとうさんコーラス大会、彩の国男声コーラスフェスティバルと姿を変えながら今年で通算33回目を迎え、9月28日響の森 桶川市民ホールで開催しました。参加は16団体でした。



福永一博先生指導・指揮によるフェスティバル合唱団には埼玉県内の多くの高校生が参加して「言葉は」と「酒頌^{しゅしやう}」を演奏、大いに盛り上げてくれました。

次回の彩の国男声フェスは、2025年9月27日所沢市民文化センターミュージック・アークホールを予定しています。